

### 切手を集める人のために

(4)

堀内 恵彦

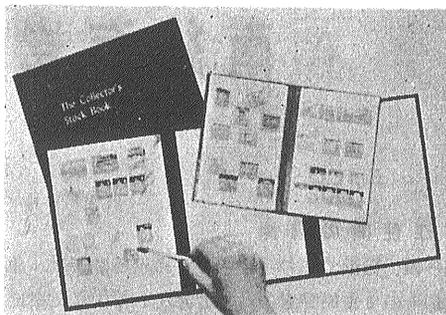
#### 切手を整理・保存するための用具 (1)

集めた切手は 整理し保存することが必要です。 それには そのための用具をそろえておかなければなりません。 これらの道具は 切手商やパートの切手売り場で取り扱っています。

1. ピンセット…切手用に作られた特殊なもので 理科実験に用いるものとは異なります。 先端が平らに延ばされており

切手を挟んでも切手にキズが付かないように作られています。

切手を扱うには 直接指先で持った方が扱いよいようにみえますが 机とか本の上で扱うにはピンセットの方が便利です。 また 指先は汗やアブラが付いている場合が多く これらが切手に付きますと 長年の間には 切手にシミやよごれが出てくるものです。 このためにも 直接指先で切手を扱うことはいけません。



ストックブックのいろいろ

2. ストックブック…手に入れた切手を 整理・保存するまでの間 収めておくもので このごろ 切手を保存するためにストックブックを使っている人を見かけますが ストックとは文字通り一時的に切手をたくわえておくもので 最終的に保存するアルバムとは異なります。 これは上質の厚手の紙を台紙として これにセロハン紙 硫酸紙 トレース用クロースセルロイド アセテートなどでポケットを階段状に作り ここに切手を挟んで支えるようにしたもので 大きさは洋服のポケットに入るほどのものから A 4版 (45cm×30cm) くらいまであります。 ふつうはB 5版(26cm×18cm)かA 5版(30cm×21cm)くらいのものが使いよいでしょう。 切手を保存するポケットの段数は 大きさにより4段から10段くらいまでありページ数もいろいろです。

ストックブックは 切手を挟むポケットのよしあしが大切で台紙がそりかえって ページから切手がずってくるものがありますから この点十分に気を付けてください。 この長所は切手の出し入れが簡単である点で 整理の途中とか重複品を交換するとか 資料に使用する切手を持ち運ぶとかいうときは便利です。

(筆者は元所員 現科学技術情報センター)



石鎚国定公園

堀内 恵彦

四国のほぼ中央部に 日本の名山として 四国の最高峰をほこる石鎚山を中心として 東は伊予富士の尾根筋である桑瀬峠から 西は堂が森 南は面河(おもご) 渓谷までの一帯を含み愛媛・高知の両県境にまたがる106.83km<sup>2</sup>の地域が公園指定地区で 山の大部分は森林におおわれ 西日本には珍らしい高山性の山容で この地をおとずれる目的としては 石鎚山登山と面河渓谷の探勝があります。

石鎚山…標高1921mで 加賀の白山以西では最高峰で その周囲に 瓶が森 伊吹山 岩黒山 筒上山 二の森 堂が森などの連山をひきいています。 山頂からは 四国のほとんど全容を見ることができ 南は室戸岬 北は瀬戸内海の島々までを一望のうちに収めることができ まことに雄大です。 古くか

ら信仰登山が盛んで 山上には役の行者の創設と伝えられる石鎚彦の神を祭った石鎚神社があり 修験道の行場で7月1日の山開きには 10万人からの白衣の行者が列をなして集まるということです。 山頂付近にはシコクシラベ コメツガなどの天然林やカモシカ ヤマネ ホシガラス 高山チョウなどの高山性の動植物がみられ 渓流にはイシツチサンショウウオも住んでいます。

面河(おもご) 渓谷…石鎚山の南麓にはじまる 仁淀川の支流の面河山内渓谷で 付近は昼なお暗い原始林におおわれ 滝や淵や奇岩奇石などが 変化に富んだ景観を形成しています。

最も観光に適する季節は 新緑あるいは紅葉の頃で 入口の関門から亀腹と呼ばれる高さ100m余 幅200m余の岩壁をはじめ 鏝岩 熊が浦 霧が迫滝 来迎滝などの奇勝があり関門の少し上流で 西から流れる支流 鉄砲川の渓谷も想思溪と呼ばれ おしどり橋 かぶと岩 パノラマ台 布引滝などがあります。 パノラマ台からは 石鎚山の最高峰天狗岳がみられます。

探勝に休日を利用するには 松山駅前から 日帰りまたは一泊のコースで観光バスが運転されており 利用者も多くありますが 石鎚山 面河溪には それぞれ旅館 宿泊所もありますから ゆっくり探勝することもできます。

国定公園の指定は昭和30年11月1日 切手の発行は昭和38年1月11日で 図案は石鎚山の遠景です。